

平成 27 年度坂町教育委員会 経営計画

I ミッション

坂町第 4 次長期総合計画、平成 27 年度町長施政方針及び平成 27 年度教育行政方針等にのっとり、「礼節」を基本とした教育行政を推進する。

II ビジョン

【町民像】

- 学校教育では、坂町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身につける。
- 生涯学習では、子どもから大人まで、町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し、夢や希望・生きがいを持つ。

【教育委員会像】

- 高い志を持ち、学校教育やスポーツ・文化活動の振興などに尽力する。
- 報告・連絡・相談による組織的で迅速な対応を行う。
- コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。
- P D C A のマネジメントサイクルによる業務遂行を行う。

III 現状分析

【学校教育】

- 小中連携研修を充実させ、「坂町礼節週間」等、保護者や地域を巻き込んだ取組を推進している。児童生徒を対象とした意識調査では、9 割近い児童生徒が肯定的に回答した。「時と場に応じた言葉遣いをしている」については、小学校の 2 月調査では前回調査と比べて 5.8 ポイント目標値を下回った。
- 平成 26 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の平均通過率は、小学校、中学校とも全ての教科で、県平均 2 ポイント以上を上回り、全国学力・学習状況調査の平均正答率については、小学校は全ての教科で県平均の 2 ポイント以上に届かず、中学校は全ての教科で県平均 2 ポイント以上を上回った。
- 平成 26 年度の不登校児童生徒は、小学校 6 人（前年度比+0.23）、中学校 3 人（前年度比-1.18）となった。いじめに関しては未解決の問題はなし。
- 外国語活動等に係る小学校 5・6 年生の意識調査「外国の人と話したい」は、目標値を下回った。

【生涯学習】

- 平成 26 年度の町史販売数は 71 冊であり、目標値に届かなかった。坂町の「歴史・文化」に関わる関心・意欲調査では、アンケート結果 63.6%であり、目標値の 70%には届かなかった。
- 成人対象の講座では、講座の参加人数は前年比 340 名と大きく上回っており、指標である新規自主グループの設立団体数についても 3 団体で目標値を達成した。
- 講座の企画にあたっては、住民のニーズを考慮しつつ、従前の「講義型」から「住民参加型」への移行にも努めた（平成 26 年度 2 講座実施）
- 図書等貸出利用者数は微増し、目標値を達成した。
- 各種教室参加者へのスポーツの関心・意欲調査においては、「これまでより関心・意欲が高まった」と回答した参加者は 84.5%であり、昨年度より 7 ポイント増加した。また、「教室の参加に満足している」と回答した参加者は 98%であり、各種教室への満足度は高い数値となった。
- 町民交流センターは、平成 26 年 9 月に無事開館し、NHK の「ふるさと自慢うた自慢」及び宝くじ助成事業「宝くじまちの音楽会」等複数のイベントを開催することができた。

IV 目標及び取組

	中期経営目標 (第4次長期総合計画)		短期経営目標 (平成27年度 教育行政方針)	具体的な取組・方策
	道徳心の 高揚	道徳心の高揚	「礼節」を基本とした教育を推進する。	○小中連携研修の礼節部会で町全体としての道徳教育を充実させるとともに、「坂町礼節週間」をはじめとし保護者や地域を巻き込んだ道徳教育の取組を進める。
学校 教育	教育環境 の充実	教育活動の充実	確かな学力の向上を図る。	○全校で礼節を基本とする教育を推進し、児童生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。 ○家庭学習時間の見直しを図り、小・中学校とも家庭学習内容の充実を図る。 ○小中連携研修を進め、主体的な学びを育むための授業改善に取り組む。
			いじめ・不登校対策を充実する。	○生徒指導の三機能を生かした授業づくりを進め、小学校への積極的支援を行う。 ○アンケートや個別面接など児童生徒の実態把握及び関係機関の連携を積極的に進め、早期発見、早期対応に努める。
		国際理解教育の推進	外国語活動等の充実を図る。	○外国語活動担当教師の指導力向上のための研修を更に充実させる。 ○小学校におけるALT、JALTの活用を見直し、低・中学年では、体験を通してコミュニケーション能力の素地を養い、高学年では初歩的な英語の運用能力を養う。
生涯 学習	文化活動 の振興	地域文化の保存、継承	町史の普及・活用に取り組む。	○ 広報、ホームページの掲載等により情報発信の充実に努める。 ○ 歴史探索に関する事業等の実施により普及・活用を図ると共に、参加者に「関心・意欲」に関わる調査を実施する。 ○ 平成27年度は、町史販売数を指標としないが、継続して販売促進に努める。
	生涯学習 ・スポー ツの振興	生涯学習の推進	学習機会の提供に努める。	○ 各地域の実情やニーズに応じた学習活動の機会の量的・質的な充実に努め自主グループ化を図る。 ○ 学習プログラム開発に関する知識を習得できるよう、研修会等へ積極的に参加する。
		生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実	図書館の活用の増進に努める。	○ 広報、ホームページ等により情報発信を行い、図書カード登録の普及・啓発を図る。 ○ 新着図書等の紹介コーナー、特別展示を設置すると共に読書推進講座、図書館利用講座（「学習機会の提供」との連携）を開催し、図書の活用促進に努める。 ○ 学校との連携を図り、読書の習慣化に努める。 ○ 蔵書の充実、自由本棚の普及啓発、図書館利用者の自転車等駐車場の適正な運用を図り、図書環境の充実に努める。
		生涯スポーツの推進	生涯スポーツの普及に努める。	○各種教室の参加者に、「関心・意欲」に関わる調査を実施し、事業内容の改善に反映させ、拡充に努める。 ○坂町スポーツ推進委員及び坂町体育協会等の協力のもと、各年齢層に応じた事業の開催及び充実に努める。 ○産学官民連携によるウォーキング事業に取り組む。
スポーツ 及び文化 活動の振興	スポーツ・芸術・文化活動の交流拠点	町民交流センターの活用促進に努める。	○ 町内外から広く活用してもらうための運用管理を適切に行う。 ○ 広報、ホームページ等への掲載及び関係機関との連携を図り、町内外への情報発信の充実に努める。	